

第 11 回 深谷市環境エコ川柳コンテスト

審査結果（小・中学生部門）

応募 132 人 139 句

最優秀賞

○ ごみゼロで いつも学校 きれいだな （丸山可憐）

（評）自分達の身のまわりからきれいにするのがエコに繋がります。

優 秀 賞

1) ○ 深谷ねぎ 白も緑も 美味しいよ （ミーナ）

（評）身近な食材である葱を詠んだところが良かった。

2) ○ 水道が ながれていたら とめておく （大沢飛悟）

（評）水道水を詠んだ句は数多くありましたが、この句は作者自身が行動をおこしているところに共感しました。

3) ○ エアコンの セッターおんど さげてみる （松戸駿和）

（評）標語的な句になり易いところを、下五の「さげてみる」が救いました。

4) ○ 節水で 水道代を へらすんだ （古田琉璃）

（評）この句も前句同様下五が救ってくれました。

5) ○ 会計後 笑顔で使う エコバック （田中柚都）

（評）上五を読んだだけでは何を言っているのか分かりませんが、下五によって句意が分かりました。

6) ○ ゴミゼロで 心もきれい うれしいな （小久保杏音）

（評）心の動きまで表現したところが良かった。

7) ○ すこしでも 水をへらせば エコになる (山崎穩空)

(評) そのとおりだと思います。類想句の多かった句ですが、中でも一番まともだった句です。

8) ○ 志ざし ポイすてしたら きずつくよ (ねぎか)

(評) 心の内面まで描いた句なので、作品としては最高のできです。と同時に子供らしからぬ句なのでびっくりしました。

9) ○ エコライフ みんなの町を まもるんだ (平川彩)

(評) 川柳を作るとなると、大人でも子供でも標語的、教訓的になってしまいます。この句は最後の一字「だ」が川柳に近づけました。

10) ○ ポイ捨ては 環境悪く するんだよ (井上翔哉)

(評) 川柳は下五によって句の良し悪しがほぼ決まります。この句が良かったのは下五です。作品の意図が分ります。

川柳が標語や教訓とは違うのは、作者の思いや考えを一句の中に入れるか入れないかです。つまり私はこう思いますという主張です。句の中に自分を登場させることが大切です。

第 11 回 深谷市環境エコ川柳コンテスト

審査結果（一般の部門）

応募 51 人 93 句

特 選

○ お財布と 腹に優しい 八分目 （林清吉）

（評）手慣れた手法でそつなく作られています「腹八分目」が良い。

準 特 選

1) ○ 晴れた日は 屋根で湯が沸く 風呂日和 （町田敏江）

（評）ほのぼのとした情景が目に浮かびます。

2) ○ 重ね着を エコだエコだと 威張るじじ （小林静枝）

（評）類想句のない楽しい句になりました。下五の「じじ」を漢字の「爺」にすると顔の輪郭まで見えてきます。

佳 作

1) ○ 小銭だけ ペーパーレスの エコ財布 （花花）

（評）時代の先端を行く作者、昔では考えられない川柳。

2) ○ 再利用 昭和に生きて お手のもの （河田操）

（評）頷ける句、「おてのもの」に自信が見えます。

3) ○ 駅伝の熱気 暖房オフにする （ケイ子姉）

（評）駅伝の好きな人ならすぐ分る句。私も陸上競技が好きなのでこんな経験がありました。

4) ○ 湯たんぽで 心と家計 温まる (天野敏子)

(評) 昔ながらのエコ、これもまた良し。

5) ○ LED 過信しないよ オンとオフ (田部井光男)

(評) 作為的に作られた感がないではないですが、前向きなところが良い。

6) ○ ごみゼロで 今年も終わり 良かったな (大谷エイコ)

(評) 平明なところが返って読む人の心に伝わってきます。川柳はこれで良いのです。

7) ○ 節約が 環境守る 一里塚 (安部孝)

(評) 一里塚の句はいくつも見てきましたが、この句の場合は標語になるところをくい止めました。

8) ○ 空き箱も 小さくたたんで リサイクル (ほむじりくす)

(評) 中七を「ちさくたたんで」と読みますと、句がリズムカルになります。

9) ○ いりません 袋あります 言ってみて (ユカリ)

(評) おちよくっているように見えますが、自分自身に言い聞かせているようにも見えます。

10) ○ 節電は 小さなエコの 積み重ね (西尾八郎)

(評) 「……は」で始まる句は「……だ」で、結んで説明句となってしまいます。この句は下五がこれを脱してくれました。

11) ○ エコバック 持ってにっこり お買物 (ゆめねこ)

(評) この句は中七の「にっこり」が句を明るくしました。

12) ○ ヤシの実に かわってプラごみ うち寄せる (富士山登)

(評) この句は中八なので定型にするならば「ヤシの実に かわりプラごみ うち寄せる」となります。余情のある良い句になっています。

13) ○ ガス2分 あとは余熱で スパゲティ (渡辺康弘)

(評) この句は下五が五音字のものを四音字に書いたため、破調となってしまう。定型にするならば「ガス2分 あとは余熱で スパゲティ」となります。類想句のない良い句になっていますので、佳作としました。

14) ○ 先頭は のっぼの班長 ゴミ拾い (持田義男)

(評) 意表を突いたおもしろい句ですが、これも中八なので破調です。しかし、これ以上推敲すると句がこわれてしまいますので、このまま載せることにしました。

15) ○ その廃品 分別すれば 資源です (島田憲一)

(評) 上五の破調は許されますが、できるだけ推敲して定型にすることが望ましい。例えば「廃品も」にすると定型になります。

選者吟

○ 利用価値 あって断捨離 まだできず

酒井 青二

○ 少しだけ 考えてみる エコのこと

手島 廣志